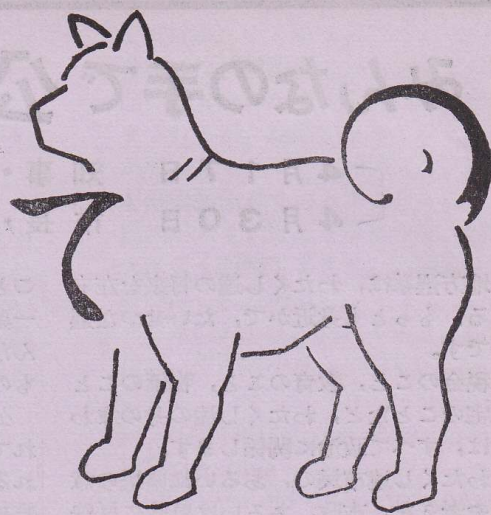


広報

おおだて

3 1963
月号

編集と発行
大館市役所



もうすぐ1年生

入学前に生活習慣を

あとひと月で新学期が始まります。

この春、小学校へ入学されるお子さんをお持ちの方は、新しい希望をお子さんに託して、あれこれと、入学前の準備を期待と不安の中でなさっておられる方も少なくないと思います。そこで、入学前の指導について主なる点をあげてみますと

◇入学前の基本的な習慣としつけ

- ① 自分の名前を書ける。
- ② 両親の名前をいえる。
- ③ 呼ばれたら「ハイ」と返事ができる
- ④ 一定の時刻に起床したり、食事をしたり、睡眠したりできる。
- ⑤ 衣服の着替えができる。
- ⑥ 自分で顔が洗え、口や歯も清潔にでき、食事の前には、必ず手を洗う。
- ⑦ 自分で用便ができる。
- ⑧ 食事がひとりででき、極端な好き嫌いをしない。
- ⑨ 右側通行や交通信号をおぼえとともに通学道路がわかる。
- ⑩ 友だちとなかよく遊べる。
- ⑪ 遊んだあと、用具や玩具のあと始末ができる。

◇親の心がまえ

親の日常生活の習慣は、すぐお子さんに反映します。入学を控えて勉強を無理強いすることなく、自然とおぼえられるよう日頃気をつかうとともに、学校には、好んで通学できるよう、家族ぐるみの指導を望みます。集団の中で規律ある生活に慣らすため

- 他人の話聞きわけて、適当な行動がとれる。
- 自分の思うことを友だちにも、おとなの人にも話せる。

以上のほか、次のことに注意して下さい。

- ① 子どもの長所、短所をよく知っておく。
- ② 身体の故障などは、入学前に手当をしておく。
- ③ 子どもの身になって、入学前の詰めこみや、暗記などはさける。
- ④ 通学服などは、どんなものが良いかくふうしてやる。
- ⑤ 持物には、すべて名前をつける。
- ⑥ 安全な登校の順路を研究しておく。

- ⑦ 共通語で、ある程度話せるようにしておく。

◇学用品の準備

学用品を準備する場合、いたずらに高価や華美を競い、親の虚栄心を子どもに植えつけないようにしたいものです

- ① 勉学に便利なものであること。
- ② 学校から推奨されたものが良い。
- ③ ノート類は、上質なものにする。し悪質なものは破損する。
- ④ 下じきは、ノートより大きめのものを。
- ⑤ 消ゴムは、やわらかで、ねばりがよく、腰の強いものを。
- ⑥ 筆入れは、実用的で、かんたんで丈夫なものを。
- ⑦ 鉛筆は、Bまたは2Bの丸軸が適当。
- ⑧ ランドセルは、大きからず、軽く使用のかんたんなもの。



親が子どもを思う気持はよくわかりますが、干渉が過ぎたり、誤ったりしますと、子どもの心の成長にならないばかりでなく、集団生活ができなくなったり、人間形成に害をおよぼすことがあります。 unnecessary 努力やむだをしないようにいたしましょう。